

(課題名) 心房細動アブレーション患者における左房低電位領域の 存在と血糖コントロールの関連の検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

糖尿病の罹患は心房細動アブレーション後再発の要因となる左房低電位領域の存在の予測因子となることは報告されていますが、左房低電位領域の存在と術前血糖コントロールの関連はこれまで明らかになっていません。心房細動アブレーション施行患者において左房低電位領域の存在・アブレーション後再発と術前血糖コントロールとの関連を検討することがこの研究の目的です。

【対象】

当院にて発作性心房細動・持続性心房細動に対して初回カテーテルアブレーションを施行し左房低電位領域マッピングを施行した症例のうち、HbA1cを測定し得た患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

左房低電位領域の存在・アブレーション後再発と術前血糖コントロールとの関連を検討し、結果は関連学会等における発表や論文により公表します。

【調査項目】

- ①患者背景・手技背景
- ②左房低電位領域の存在率と HbA1c による層別化
- ③左房低電位領域存在の予測因子の検討
- ④心房細動アブレーション後最大 2 年間の観察期間での心房細動再発と HbA1c との関連の検討 (2022 年 12 月までの診療録に記載された記録にて評価します)

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2014年12月1日から2022年12月31日まで

【利用する者の範囲】

関西労災病院 循環器内科 松田祥宏

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 循環器内科 松田祥宏

【研究期間】

実施許可日から2025年9月30日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

松田 祥宏

関西労災病院 循環器内科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-Mail: ymatsuda0812@gmail.com